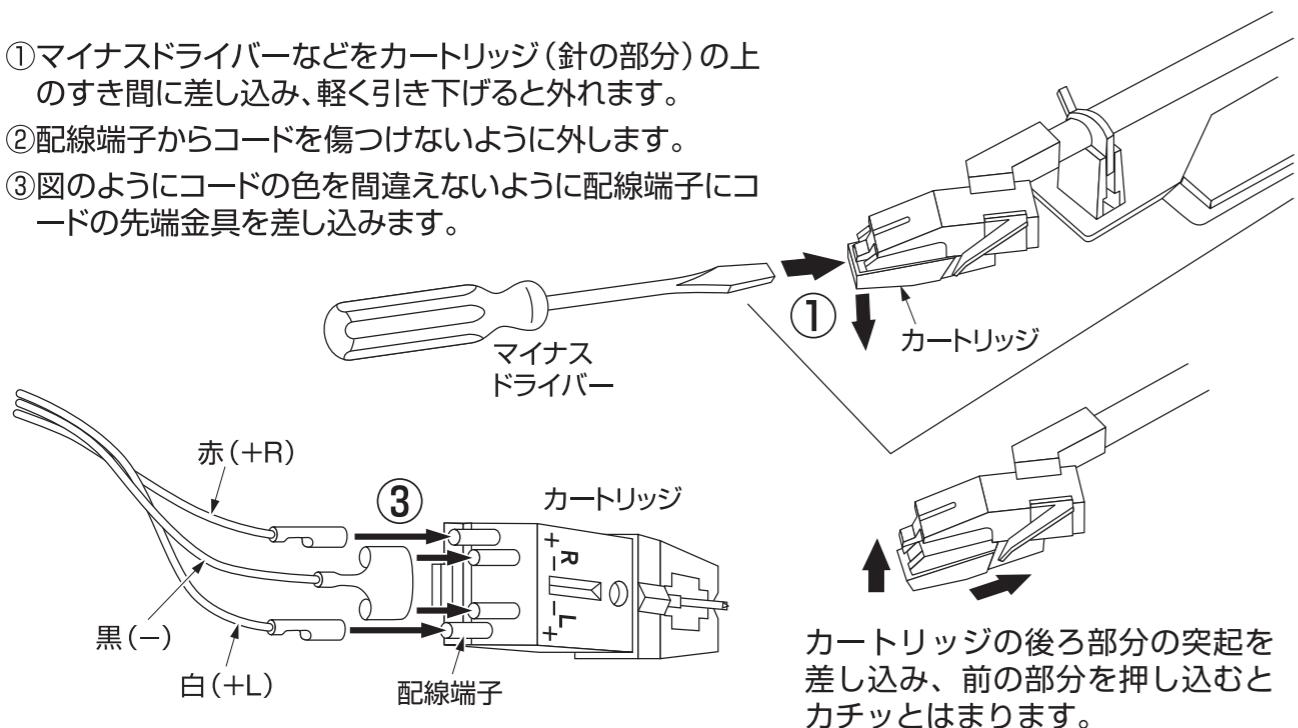


# レコード針の交換

## 注意

- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

- ①マイナスドライバーなどをカートリッジ(針の部分)の上  
のすき間に差し込み、軽く引き下げる外れます。
- ②配線端子からコードを傷つけないように外します。
- ③図のようにコードの色を間違えないように配線端子にコ  
ードの先端金具を差し込みます。



## 保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

品名	レコード・ラジオ・カセットをデジ録できるプレーヤー		
お客様	お名前	ご住所	電話番号 ( )
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より)	本体 1 年 (但し消耗品は除く)		

### 〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
  - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - ②お買上げ後の取扱場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
  - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。

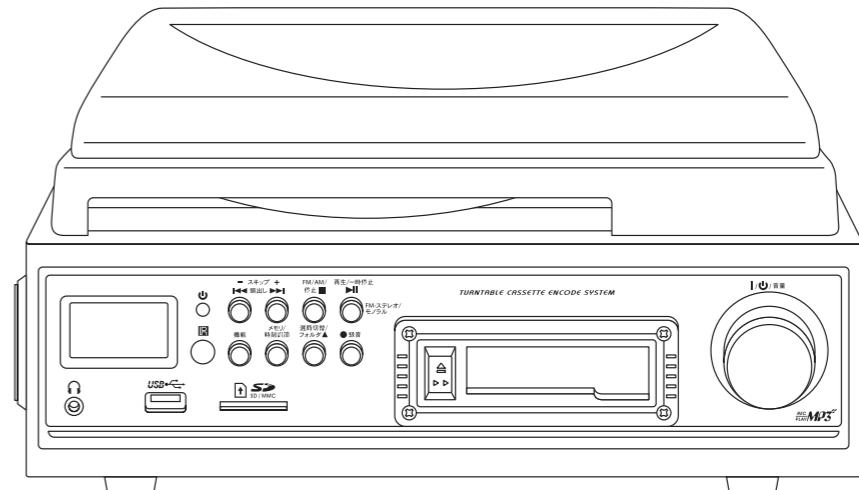
輸入元 株式会社とうしょう

# レコード・ラジオ・カセットを デジ録できるプレーヤー

## 取扱説明書(保証書付)

## ご使用前に必ずお読みください

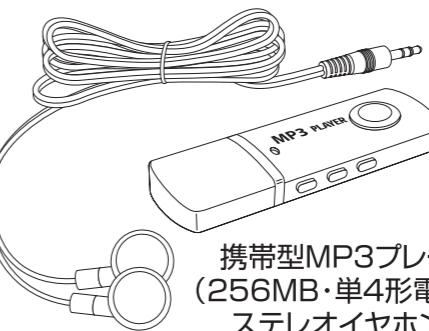
このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



### 〔付属品〕



EP (ドーナツ盤) 用  
アダプター



携帯型MP3プレーヤー  
(256MB・単4形電池付き)  
ステレオイヤホン付き



リモコン  
(電池付き)

輸入販売元 (株)とうしょう 埼玉県八潮市大曾根87-3

# 安全上のご注意

## 絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<h3>絵表示の例</h3>	
	△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

## ⚠ 警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。  
電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

## ⚠ 注意

- 本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

# 日常のお手入れ

## ⚠ 注意

### ●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

### ●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。  
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

## こんなときは／故障かな？と思ったら

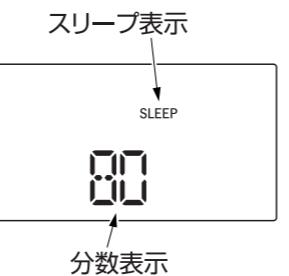
### ●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状	ここをお確かめください
スピーカー 音が出ない 音が途切れる	●ボリュームは十分ですか? ●ヘッドホンをジャックに差したままになってしまんか?
リモコン リモコンが 使えない	●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約7m以内) ●リモコンの電池は古くなっていますか? ●リモコンの電池は正しい向きで入っていますか?
USBメモリー ／SDカード 再生できない 音が出ない	●機能選択ボタンはUSBメモリー/SDカードを選択してますか? ●挿入口の奥まで確実に差し込まれていますか? ●SDカードを使用時、カードスイッチがLOCK(ロック)されていませんか? ●音楽が正しく録音されたものですか?
レコード プレーヤー ターンテーブル が回らない 音が出ない	●機能選択ボタンはレコードを選択してますか? ●レコード針保護カバーを前方向にスライドさせ、外してありますか?
カセットテープ テープが 入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか? ●機能選択ボタンはテープを選択してますか? ●ゴムローラー、ヘッドが汚れていませんか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか?
ラジオ 音が出ない	●機能切換ボタンはラジオを選択してますか? ●お聴きになりたい番組の周波数は合っていますか?
雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。(FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)

# その他の機能

## スリープ機能

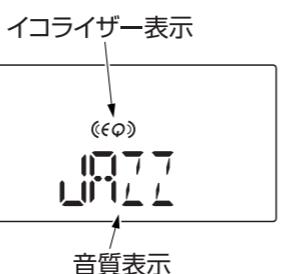
- リモコンのスリープボタンを押すとディスプレーにSLEEP「90」が現われます。次に押すと「80」「70」「60」「50」「40」「30」「20」「10」「OFF」の順に出ます。
- これは自動で電源が切れる「分数」です。どれかを選択すると、ディスプレーに「SLEEP」文字が点滅します。選択された分数で電源が自動で切れる機能です。「OFF」選択はスリープの解除です。



## イコライザー機能

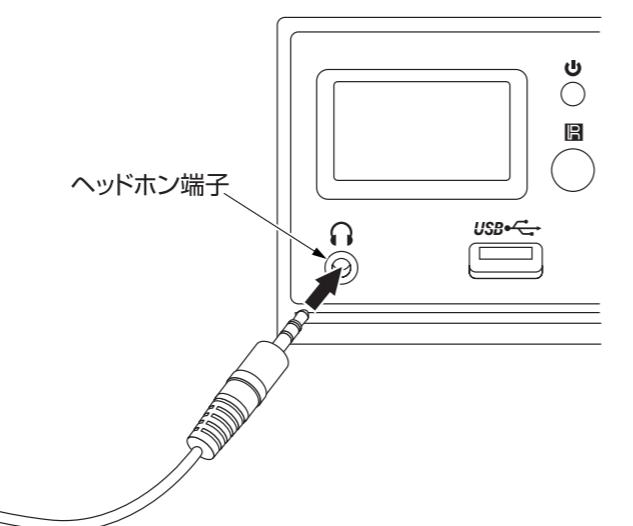
- リモコンのイコライザーボタンを押すとディスプレーに「((EQ))」が現われます。「CLASSIC」「ROCK」「POP」「JAZZ」「FLAT」の順に出ます。
- これは音楽の音質をクラシックやロックなどを聴くときに最適な音質に調整する機能です。お好きな音質でお聴きください。「FLAT」選択はイコライザーの解除です。

CLASSIC → ROCK → POP → JAZZ → FLAT  
クラシック ロック ポップス ジャズ フラット  
(解除)



## ヘッドホンの使用

- 本機で使用できるヘッドホンの仕様は、プラグがミニタイプ(Φ3.5mm)でインピーダンス8~32Ωです。ご利用前に確認してください。
- ヘッドホンのプラグを本機前面の「ヘッドホン端子」に差し込みます。ヘッドホンを使用の時は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量は「音量ツマミ」または「音量ボタン」で適切な大きさに調整して聞いてください。



# レコードプレーヤーをご使用する前に

- 本機はレコード針1本装着済です。アーム先端の赤い部分に針が付いておりますので、赤い部分は外さず、触らないでください。白い保護カバーを手前に引いて外してください。赤い部分に針が装着されています。赤い部分は外さないでください。赤い部分を外したり、触れたりしますと、針が取れたり、ずれたりし雑音が入ったり、レコードの音が聴けなくなりますのでご注意ください。

※レコードアームの先端にはレコード針が付いております。レコードアームとレコード針の部分はレコード演奏に大変重要なので、丁寧にお使いください。

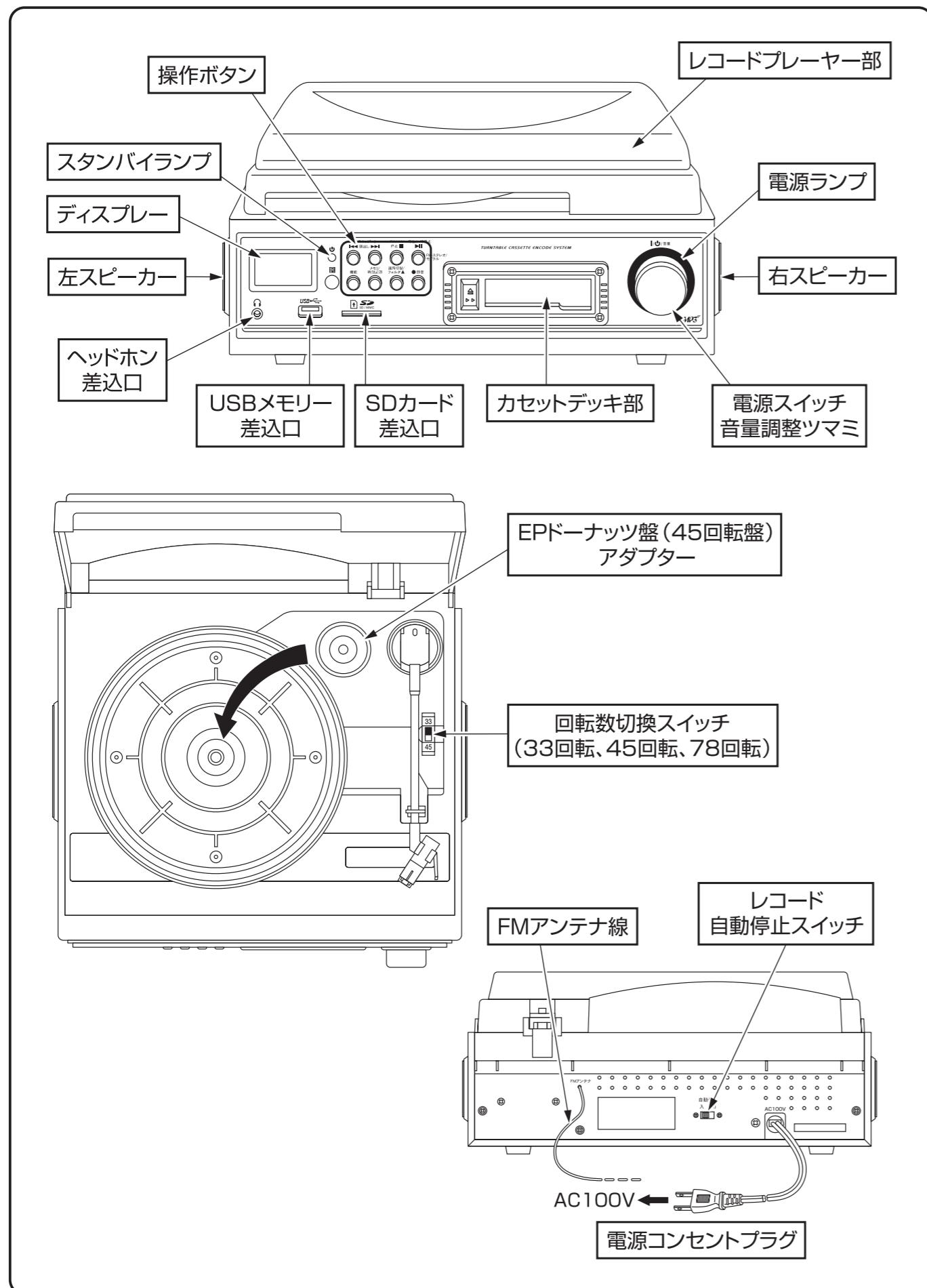
- レコード盤の種類によって、ターンテーブル上面の右側にある回転数切り換えスイッチを33・45・78回転にそれぞれ合わせてください。
- レコードEP盤(45回転)を使用の際は、本体上面のEP盤アダプターを回転盤の軸棒にのせて、EP盤をセットしてご使用ください。
- レコード演奏中、レコード盤の種類によって、演奏の最後の部分で回転が停止する場合があります。途中停止するレコード盤をご使用の場合は、本体裏側にあるオートストップスイッチをOFF側にしてお使いください。演奏を最後まで聴けるようになります。

※レコードプレーヤーはレコード盤に刻まれた溝の凸凹が針に振動を与え、それが電気信号に変換されてスピーカーから音を発するもので、ブッブンといったノイズ音やスピーカー以外および針とレコード盤の接触する部分からも音が漏れます。しかし、雑音とは異なるものなので、ご理解の上ご使用願います。

## USBメモリー・SDカードの使用上の注意

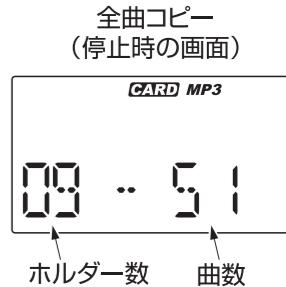
- 本機で使用できるUSBメモリー・SDカードの容量2GBまで、SDHCカードの容量は16GBとなりますのでご注意ください。
- USBメモリーおよびSDカードに音源が読み込めない等、一部粗悪品が見受けられます。正常に再生・録音出来ない場合は、何種類かのUSBメモリー・SDカードでお試しいただく事をお願いいたします。
- SDカード、USBメモリーは他のプレーヤー、デジタルカメラ、パソコンで使用したものは本機プレーヤーで再生・録音できない場合があります。その場合は新しいものをご使用ください。
- SDカードをご使用の場合、カードがLOCK(ロック)されていないかご確認ください。

## 各部の機能とセッティング



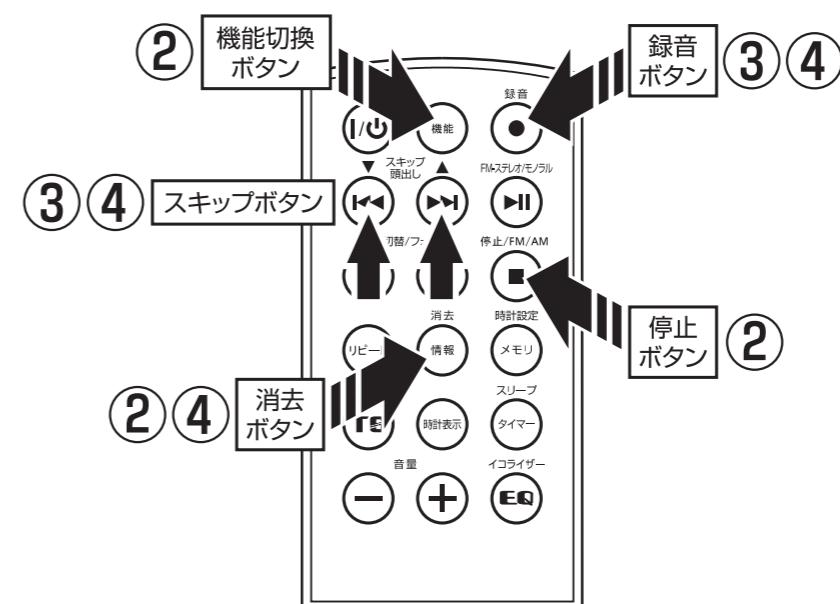
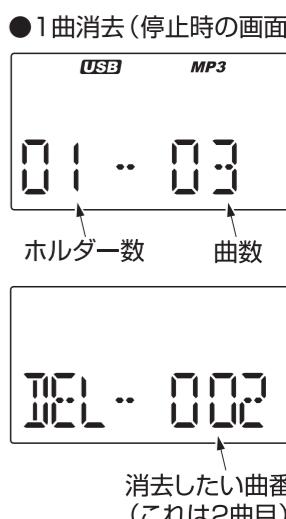
## 音楽ファイルのコピー

- ①本機は音楽をUSBメモリーからSDカードへ、SDカードからUSBメモリーへコピー録音できます。
- ②あらかじめ「USBメモリー」と「SDカード」の両方をセットしておきます。コピーしたい音楽の入った方を「機能切換ボタン」で選択します。1曲録音の場合、録音したい曲を再生中に「録音」ボタンを押すと「REC」表示が点滅し、コピー録音が開始されます。コピー終了後再生は自動的に終了します。続けてコピーするときは、もう一度コピーしたい音楽を再生し、「録音」ボタンを押してください。
- ③全曲をコピー録音するときは、USBメモリーとSDカードをセットし、コピーしたい方を選択し、「停止」ボタンを押し停止状態にします。「録音」ボタンを押すと「REC」表示が点滅し、コピー録音が開始されます。コピー終了後再生は自動的に終了します。



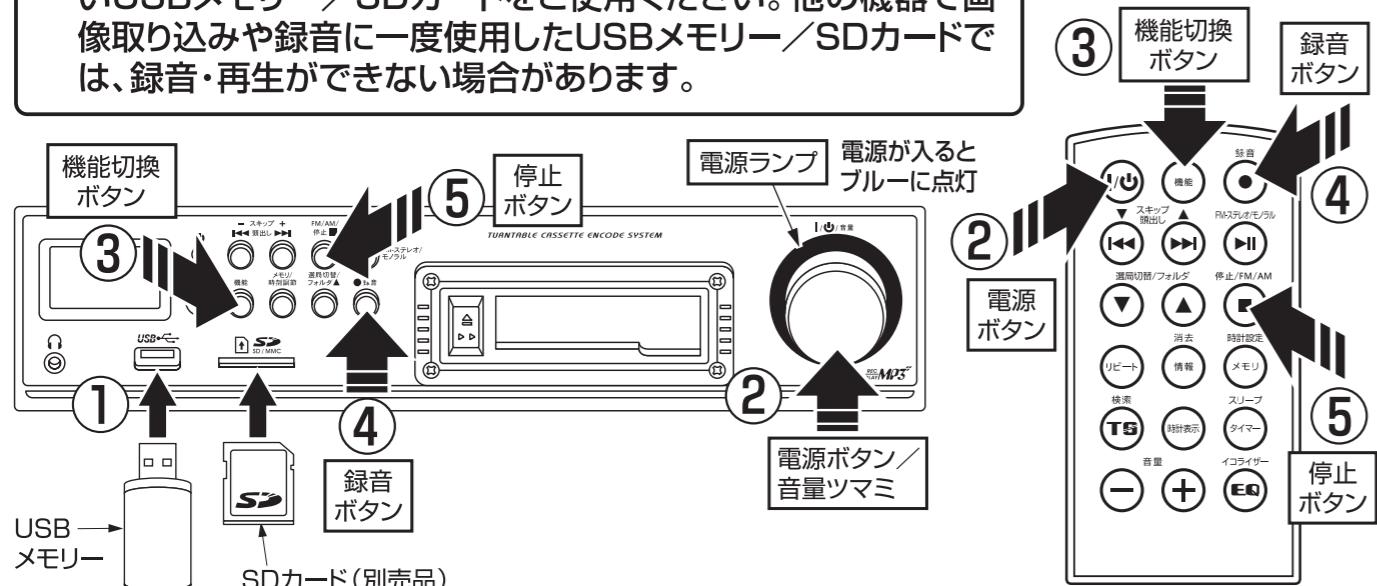
## 音楽ファイルの消去

- ①USBメモリー及び、SDカードに録音した曲を消去することができます。
- ②「機能切換ボタン」で消去したい「USB」または「SD」を選択し、一度「停止」ボタンを押します。次に「消去」ボタンを3秒ほど長押しします。ディスプレーに右図のような画面「DEL-001」が現れます。
- ③「スキップ▶▶/◀◀」ボタンを押し消去したい曲を選択し、「録音」ボタンを押すと「YES NO」表示が現われますので、「スキップ▶▶/◀◀」ボタンで「YES」を選択して「録音」ボタンを押すと選択した曲が消去されます。
- ④全曲消去する場合は、「消去」ボタンをさらに3秒ほど長押しします。ディスプレーに「FORMAT N」の画面が現れます。「スキップ▶▶/◀◀」ボタンで「FORMAT Y」を選択して「録音」ボタンを押すと全て消去されます。
- ⑤途中で作業を中止したいときは、「停止」ボタンを押してください。また、一度消去した曲はもとには戻せませんので、ご注意ください。



# USBメモリー／SDカードへの録音

※本機で使用するUSBメモリー／SDカードは本機専用に新しいUSBメモリー／SDカードをご使用ください。他の機器で画像取り込みや録音に一度使用したUSBメモリー／SDカードでは、録音・再生ができない場合があります。



## レコードを録音

- ①USBメモリーを「USB」挿入口に奥までしっかりと差し込みます。(SDカードにも同様に録音できます。)
- ②「電源／音量」ツマミを押して電源スイッチを入れます。ツマミの回りが「ブルー」に点灯します。リモコンの場合は「電源ボタン」を押します。
- ③機能切換ボタンを何回か押して、ディスプレーに「PHONO」を表示させ、レコードを選択します。
- ④レコードに針をのせ、音楽を再生し、「録音」ボタンを押します。
- ⑤ディスプレーに「REC」が表示され、録音が開始されます。録音する音楽が終りましたら「停止」ボタンを押すと録音完了です。



レコード録音画面

## テープを録音



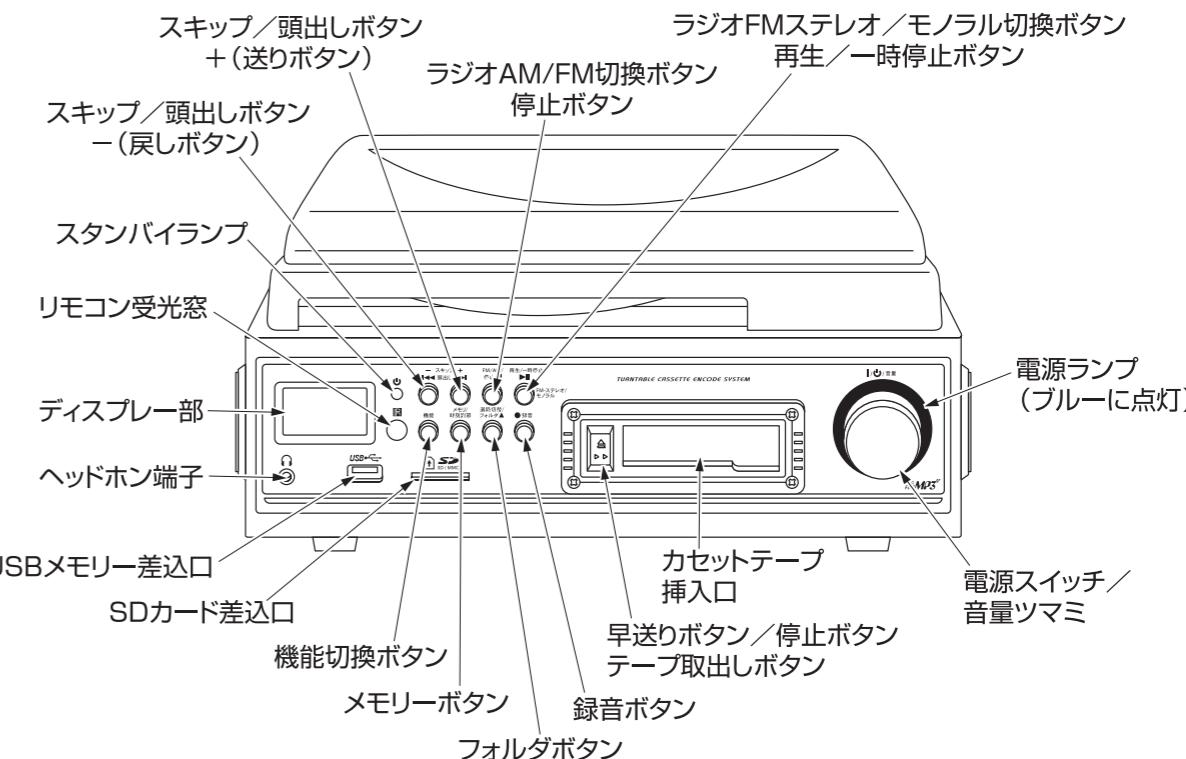
テープ録音画面

## ラジオを録音



ラジオ録音画面

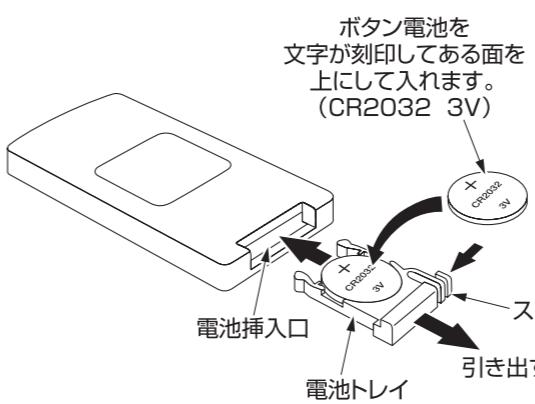
# 各部の名称



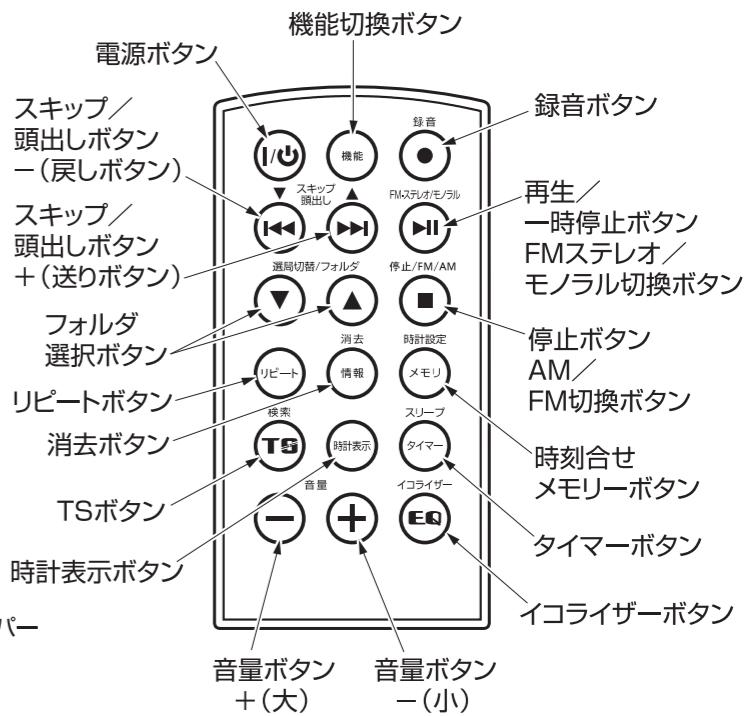
## リモコンの使い方

### ●電池の交換方法(入れかた)

- ①フタのストッパーを矢印方向に押しながらトレイを引き出します。
- ②ボタン電池(CR2032)の+を上向きにトレイにのせ、本体に差し込んでください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。
- ③使用範囲は2m以内です。



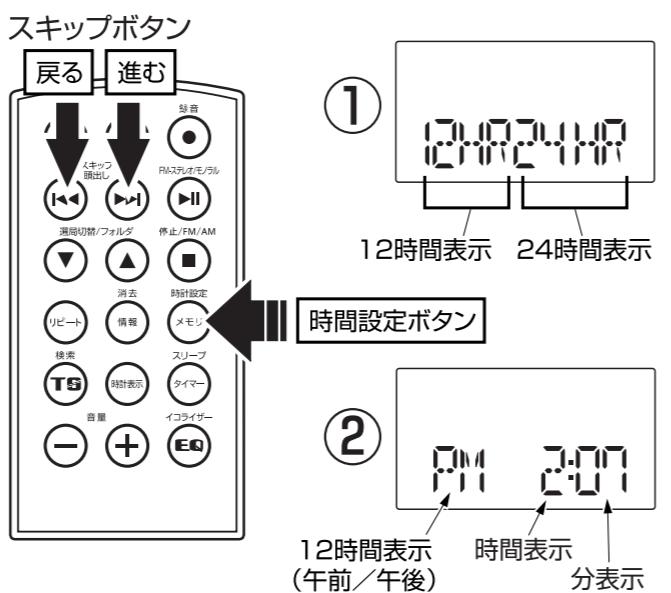
### ●リモコンボタンの名称



# 時計の合わせ方

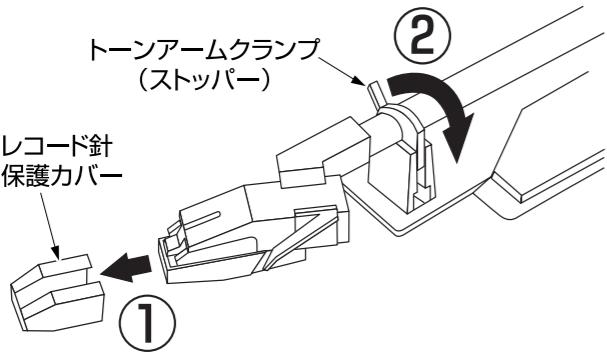
①リモコンで合せます。「時計設定」ボタンを押すとディスプレーに「CLOCK」が表示、もう一度押すと「12HR(12時間表示)/24HR(24時間表示)」され、点滅している方が選択されますので、「スキップ」ボタンでどちらか選択して、「時計設定」ボタンで確定します。

②確定後、もう一度「時計設定」ボタンを押すと「時間数字」が点滅しますので「スキップ」ボタンで時間を選択し、「時計設定」ボタンで確定します。次に「分数字」が点滅しますので「スキップ」ボタンで分を選択し、「時計設定」ボタンで確定します。  
③ゆっくり時間合せをしていると「表示」がもとに戻りますので、もう一度やり直してください。

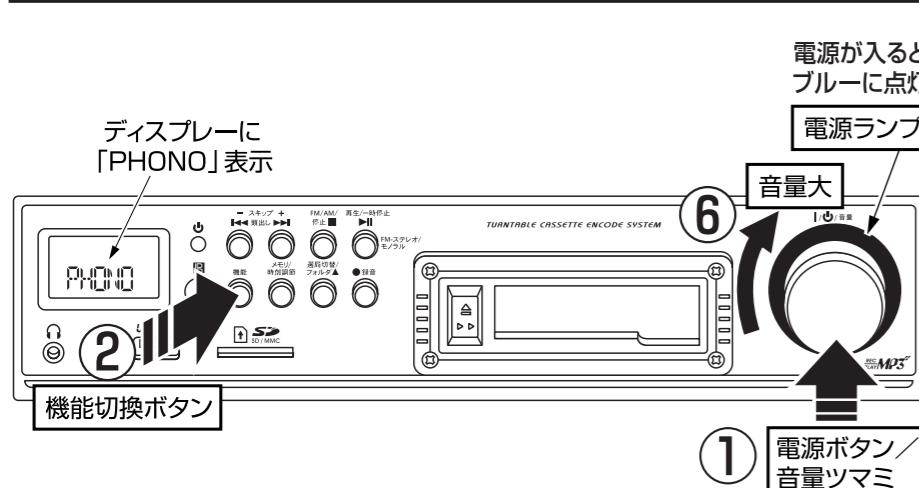


# レコードプレーヤーの使い方

## ●ストッパーと針保護カバーを外します。



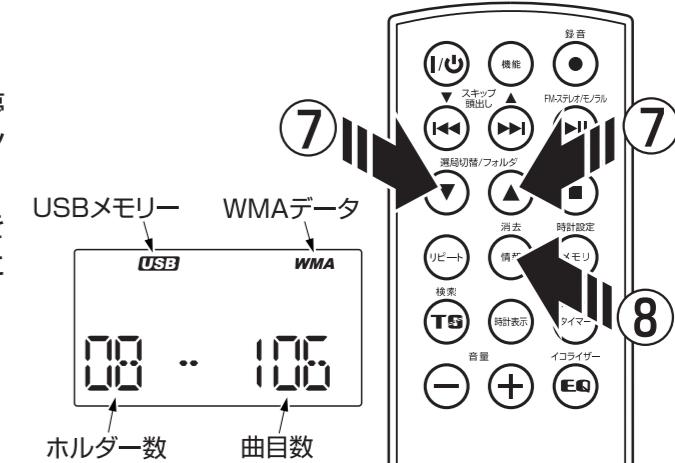
- ①レコード針保護カバーを前方向へスライドさせ外します。
- ②トーンアームクランプ(ストッパー)を外してください。



- ①「電源/音量」ツマミを押して電源スイッチを入れます。ツマミの回りが「ブルー」に点灯します。リモコンの場合は「電源ボタン」を押します。
- ②機能切換ボタンを何回か押して、ディスプレーに「PHONO」を表示させ、レコードを選択します。

⑦再生中に「ホルダー(アルバム単位など)」ボタン「▲」を押すと次のホルダーを、「▼」を押すと前のホルダーが再生されます。停止中に「ホルダー」を選択して「再生」ボタンを押すと選択したホルダーが再生されます。

⑧再生中に「情報」ボタンを押すと曲の内容をディスプレーに表示します。もう一度押すと元に戻ります。



## リピート再生

①再生中に「リピート」ボタンを押すと下記のディスプレー表示が順番に出ます。

②「再生」ボタンを押すと図表示のリピート再生が始まります。

③「停止■」ボタンを押すとリピートが解除されます。

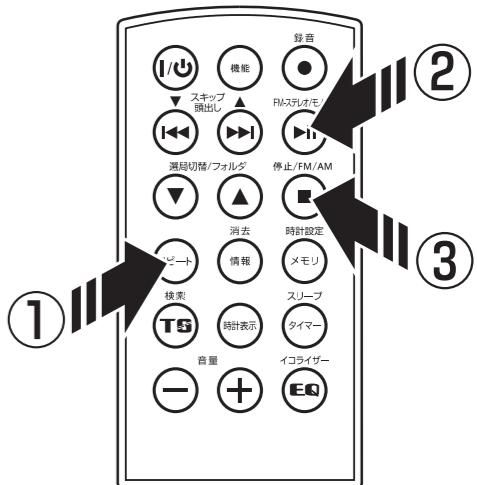
..... 1曲をくり返し再生します。

ALL ..... 全曲をくり返し再生します。

FOLDER ..... フォルダ内の曲をくり返し再生します。

INTRO ..... 曲の始めを10秒間頭出し再生します。

RANDOM ..... 曲順をランダムに入れ替えて再生します。



## プログラム演奏

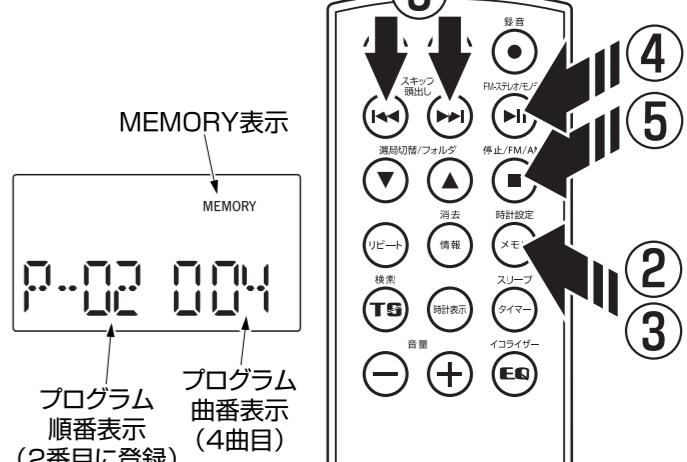
①お好みの曲順に32曲までプログラム再生できます。

②停止状態で「メモリ」ボタンを押すとディスプレーに「MEMORY」表示が出ます。

③「頭出し▶▶/◀◀」ボタンを押し曲を選択し、「メモリ」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。

④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。

⑤プログラム再生を終了するには、「停止■」ボタンを押し「MEMORY」表示を消してください。



## 注意

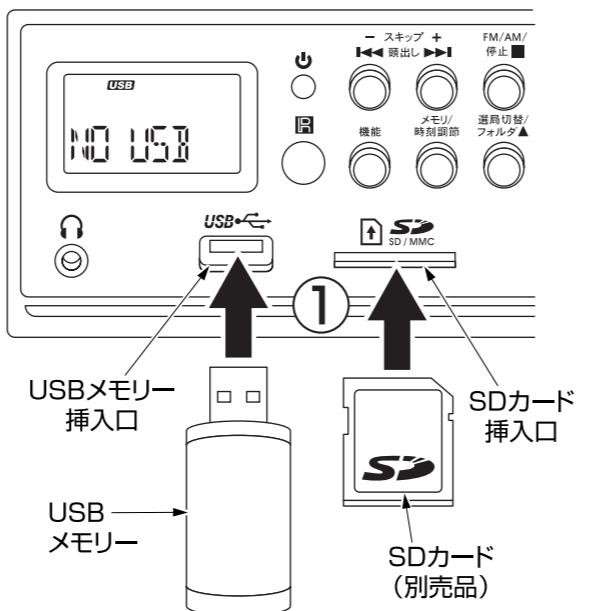
- USBメモリーとSDカードは別売です。
- 本機で使用できるUSBメモリー・SDカードの容量は2GBまで、SDHCカードの容量は16GBとなりますのでご注意ください。
- USBメモリーからSDカードに、SDカードからUSBメモリーにコピーする時は、容量が小さいものから大きいものへだけコピーできます。小さいほうへはできません。

例：256MB→512MBはできます。1GB→512MBはできません。

# USBメモリー／SDカードの使い方

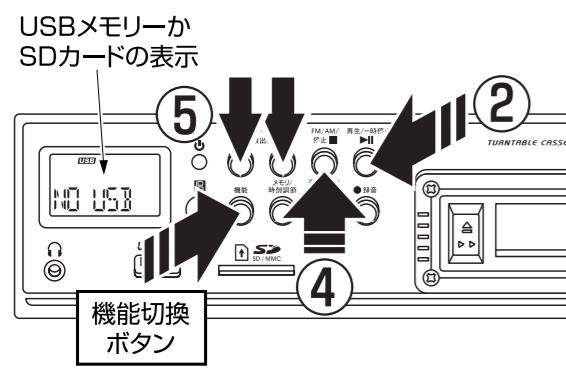
## ●USBメモリー、SDカードの挿入

- USBメモリーを上下を確認して図のように奥までしっかり挿入してください。
- SDカードも上下を確認して図のように奥までしっかり挿入してください。SDカードを取りだすときは、少し押すと半分ほど出でますので、それから取り出してください。



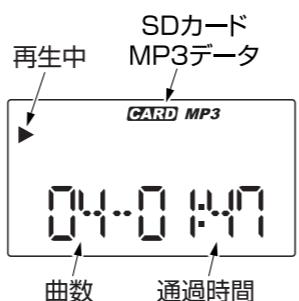
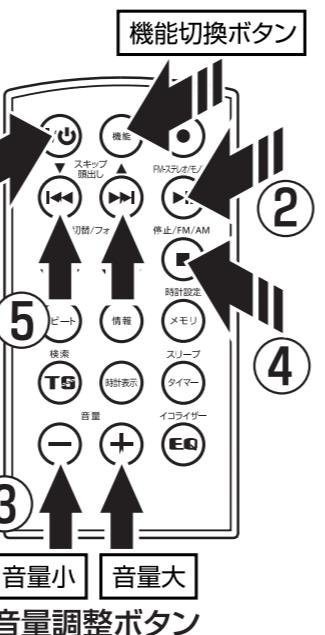
## ●USBメモリー、SDカードの再生

- 「電源／音量」ツマミを押して電源スイッチを入れます。ツマミの回りが「ブルー」に点灯します。リモコンの場合は「電源ボタン」を押します。
- 機能切換ボタンを何回か押して、ディスプレーに「USB」か「CARD」を表示させ「USB」か「CARD」を選択します。

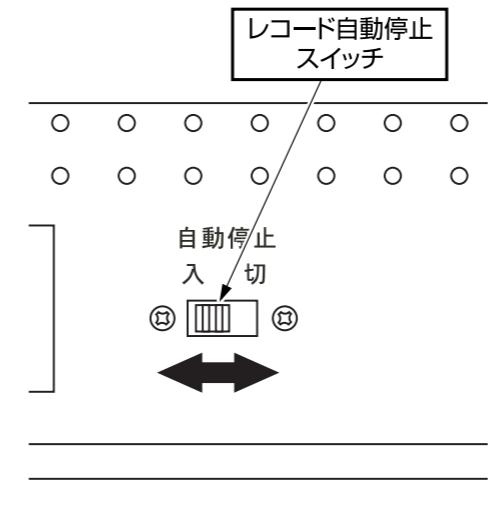


### ノーマル再生

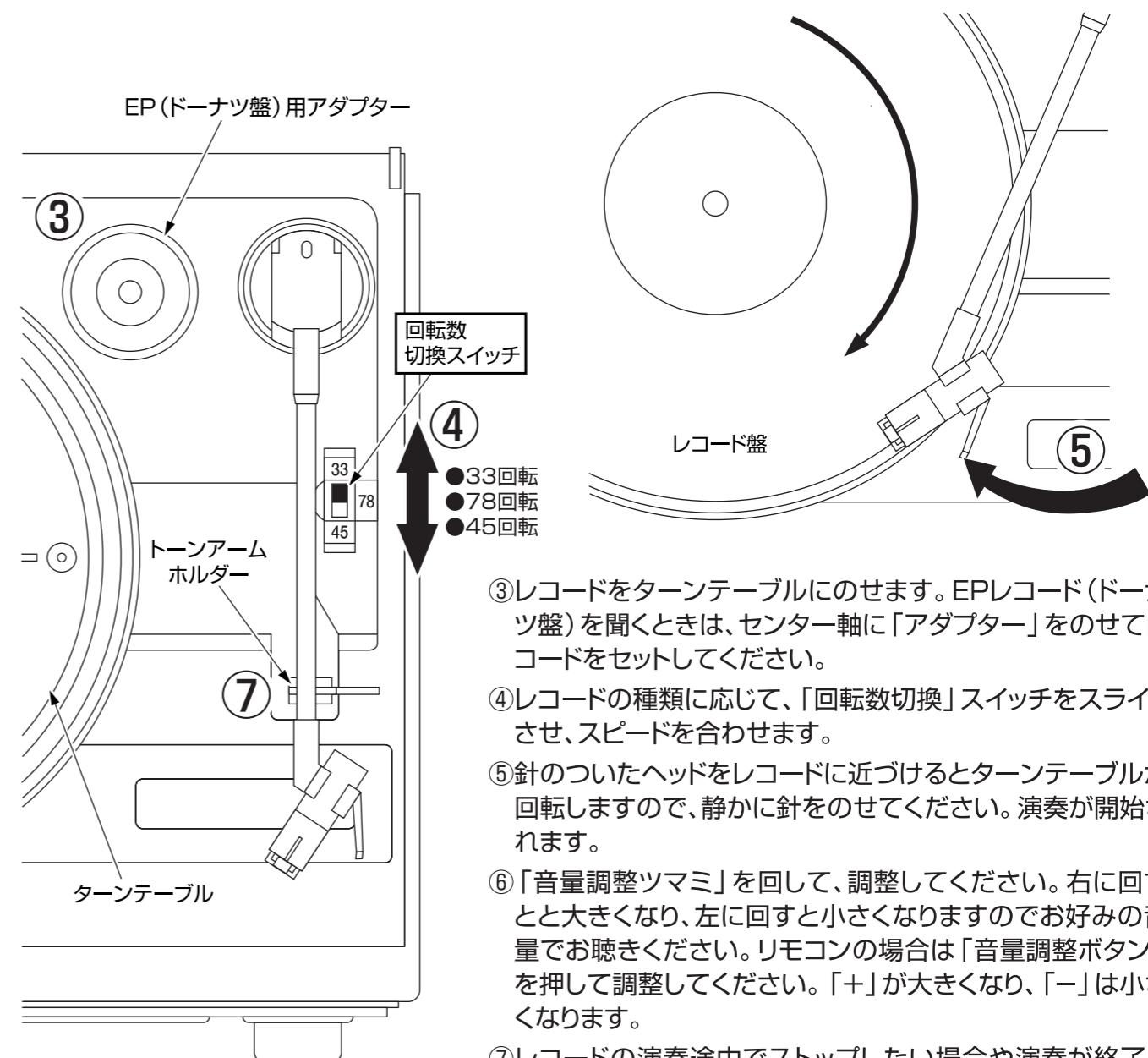
- ①USBメモリーまたはSDカードを上図のように上下を確認して、奥まで確実に差し込んでください。
- ②「再生／一時停止」ボタンを押すと1曲目から順に再生が始まります。
- ③音量は「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。リモコンの場合は「音量調整ボタン」を押して調整してください。「+」が大きくなり、「-」は小さくなります。
- ④再生中に「再生／一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。「停止■」ボタンを押すと停止します。
- ⑤再生中または停止中に「頭出し▶▶」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「頭出し◀◀」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。
- ⑥再生中に「▶▶／◀◀」ボタンを長押しすると、早送り再生／早戻し再生されます。ボタンを離すと、そこから通常再生されます。



## ●レコード自動停止スイッチの使い方

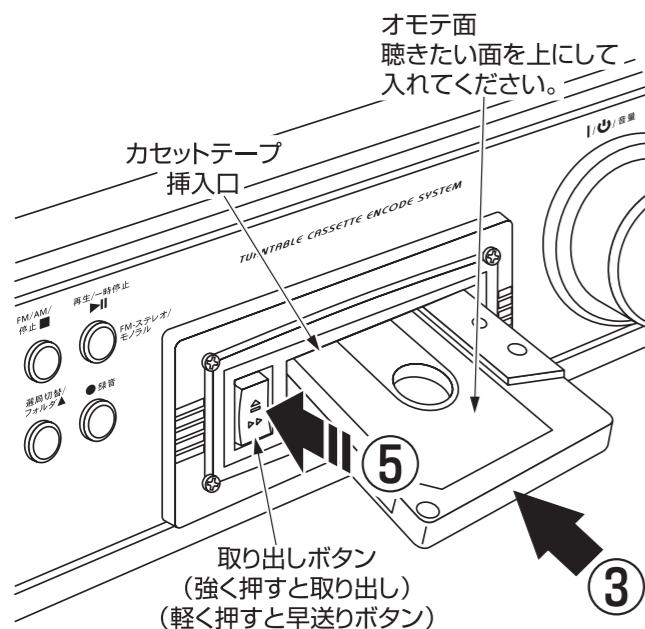
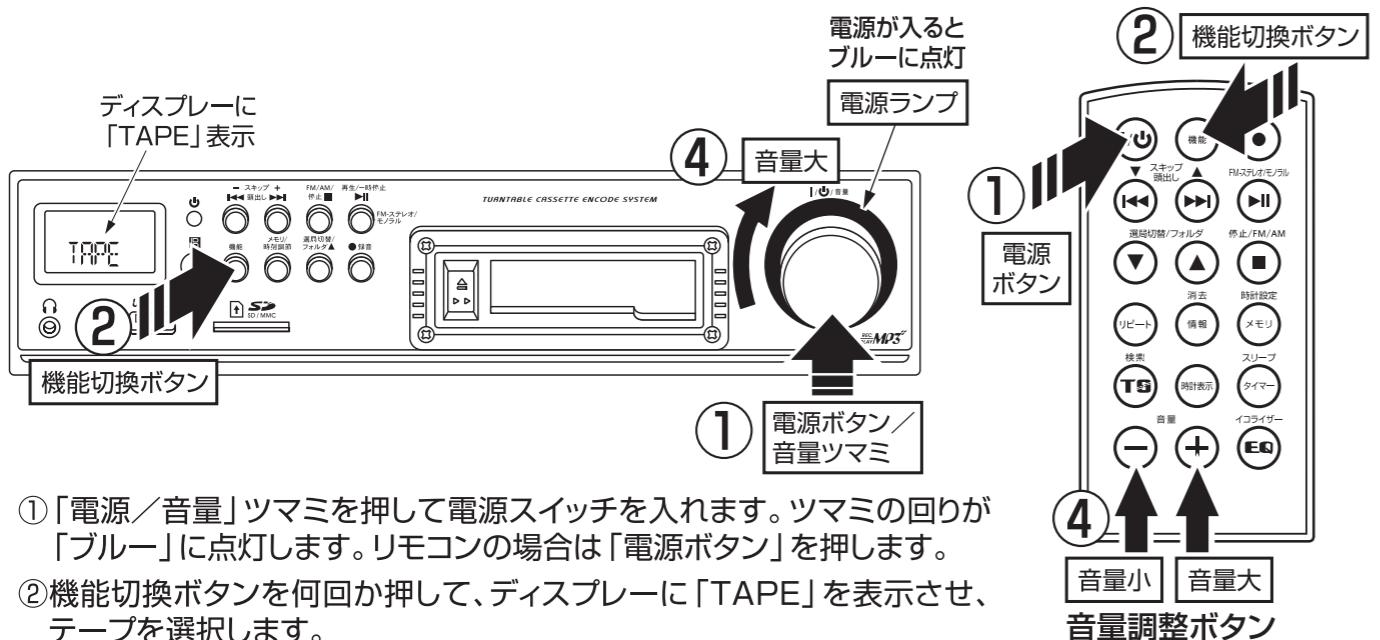


通常の使用には、本体後側にあるレコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。  
しかし、EP(ドーナツ盤)や、SP盤を聞くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチは「OFF」側でご使用ください。



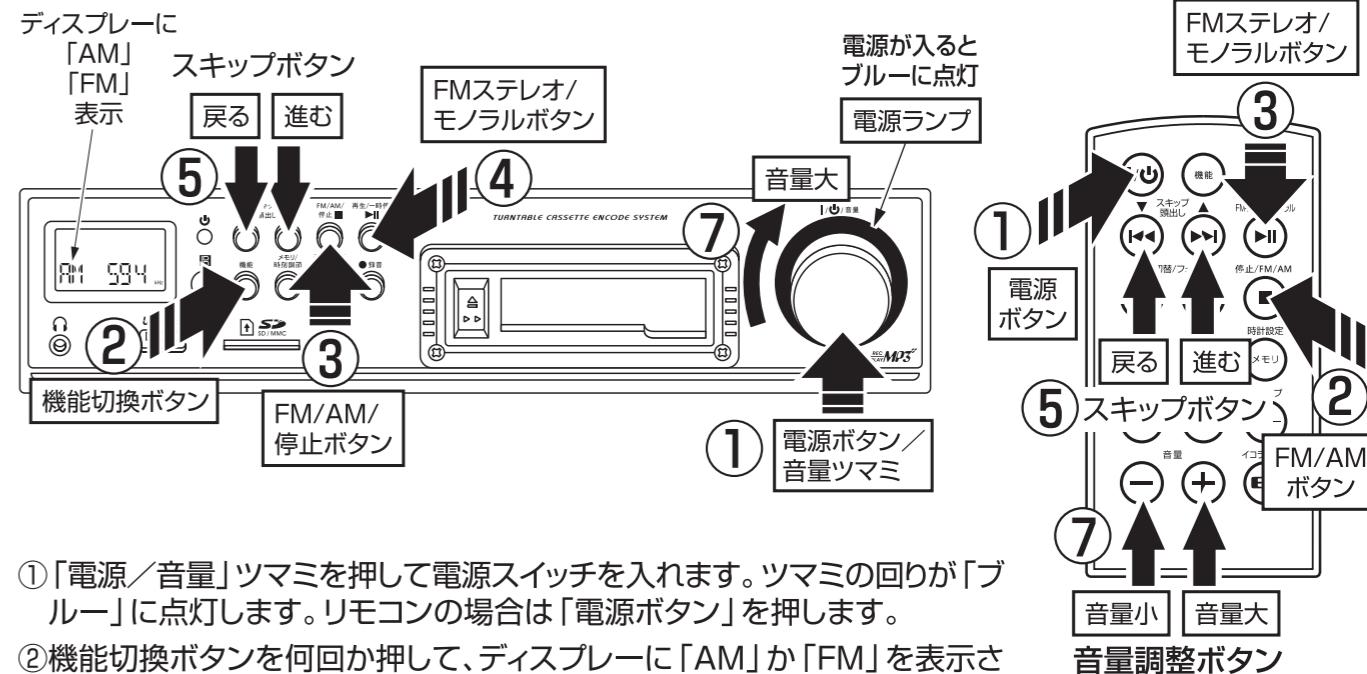
- ③レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてコードをセットしてください。
- ④レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。
- ⑤針のついたヘッドをレコードに近づけるとターンテーブルが回転しますので、静かに針をのせてください。演奏が開始されます。
- ⑥「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。リモコンの場合は「音量調整ボタン」を押して調整してください。「+」が大きくなり、「-」は小さくなります。
- ⑦レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終了したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

# カセットプレーヤーの使い方(再生専用)



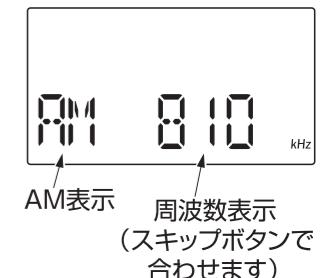
- 機器に入る前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 60分以上の長時間テープはご使用にならないでください。長時間テープはテープが薄いため機械に絡まりやすく、故障を引き起すおそれがあります。
- ご自身で録音されたテープ、または年数が経っているものは録音・保存状態によって再生、録音動作が上手くいかない場合があります。その場合は他のテープで再度試してください。

# ラジオの聴き方

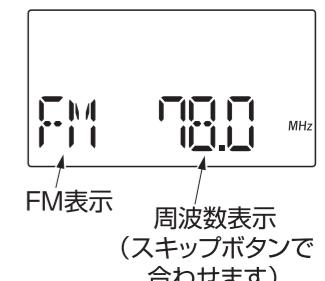


- ①「電源／音量」ツマミを押して電源スイッチを入れます。ツマミの回りが「ブルー」に点灯します。リモコンの場合は「電源ボタン」を押します。
- ②機能切換ボタンを何回か押して、ディスプレーに「AM」か「FM」を表示させ、ラジオを選択します。
- ③「FM/AM/停止ボタン」押して、ディスプレーに「AM」または「FM」が表示されます。もう一度押すと「AM」か「FM」に表示が変わります。
- ④「FM」表示の時、「FMステレオ/モノラルボタン」を押すと「ステレオ」と「モノラル」の切換ができます。
- ⑤「スキップボタン」を押して、お聴きになりたいラジオ局(周波数)に合わせます。ディスプレーを見ながら「スキップボタン」を押し周波数を合せてください。「スキップボタン」を長押しすると自動で止まり周波数が合うラジオが聴けます。もう一度長押しする、次の局で自動で止まります。これを繰り返して周波数を合わせて聴くことができます。
- ⑥FMステレオ放送を聞く場合、FM電波が弱く、雑音が発生した場合は「FMステレオ/モノラルボタン」を押し、「モノラル」側を選択すると、雑音が改善される場合があります。
- ⑦音量は「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。リモコンの場合は「音量調整ボタン」を押して調整してください。「+」が大きくなり、「-」は小さくなります。

## ●AM局表示

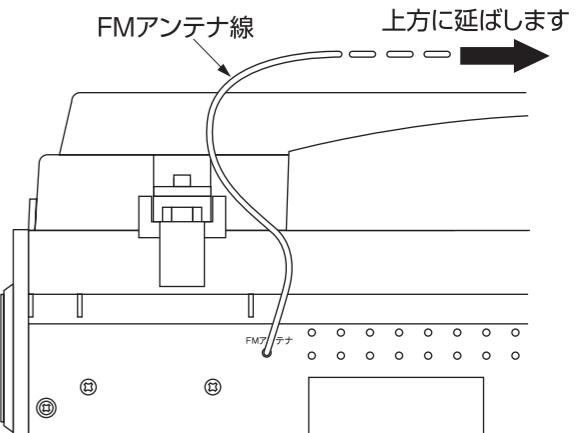


## ●FM局表示



## ●外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。  
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。



## ●AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。  
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。